

第1期 岩見沢市地域福祉計画の各取組みの今後の方向性(概要) (H30.10)

◆ 地域福祉計画の概要

1 位置づけ

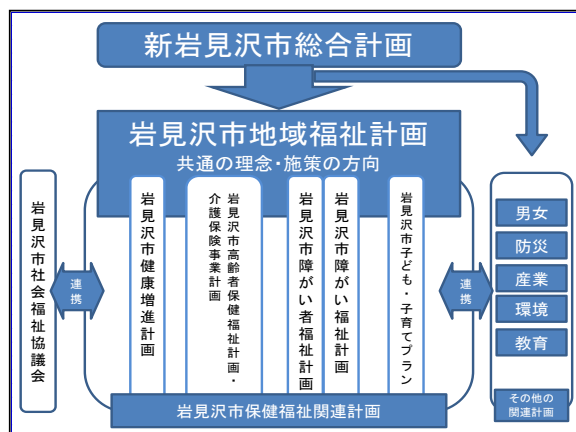
新岩見沢市総合計画における地域福祉分野の施策を具体化し、保健福祉関連分野の各種計画に基づく施策を総合的に推進するための理念と地域福祉の推

2 計画期間

平成29年度～33年度(5年間)

3 策定体制

- 地域福祉計画策定委員会(福祉関係や市民団体の代表者、有識者、公募市民の17人で構成、5回開催)
- 庁内連携会議(市の関係部局を横断した検討)
- 市民アンケート(市民3,000人対象のアンケート調査、有効回答数1,472件、回収率49.1%)
- パブリックコメント(市民から寄せられた意見を計画に反映)



4 計画の進捗状況の把握と評価(「PDCAサイクル」による計画の着実な推進)

計画の実行と確実な実施に向け、計画(Plan)を、具体的に実行し(Do)、評価・点検を行い(Check)、適宜見直し等の改善を行う(Act)

◆今後の方向性(新規2、拡充8、継続17)

計画目標	基本目標	基本施策	個別施策	今後の方向
I 福祉サービスを利用しやすい仕組みづくり	i 安心して利用できる福祉サービスの充実	1 身近な相談窓口の充実と福祉情報の提供	① 民生委員・児童委員活動の充実	【拡充】
		2 支援を必要としている市民を発見する仕組みづくり	② 福祉に関する情報の提供	【継続】
	ii 福祉サービスを確実に提供するための支援の強化	3 生活困窮者自立支援事業の効果的な実施	③ 多機関連携による包括的な支援体制の構築	【拡充】
		4 高齢者等の孤立の防止	④ 定期的なニーズ調査の実施	【継続】
II 地域の社会資源を育む環境づくり	iii 安全安心なまちづくりの推進	5 災害時における避難行動要支援者等への支援の強化	⑤ 生活困窮者自立支援事業の実施	【継続】
			⑥ 子どもの貧困対策の強化	【継続】
			⑦ 集いの場づくりの支援の強化	【新規】
			⑧ 避難行動要支援者名簿の作成と適正な利用	【継続】
	iv 地域の福祉を担う人材の育成	6 ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	⑨ 避難情報の提供	【継続】
			⑩ A E Dを使用した救急救命措置方法等の普及	【継続】
			⑪ ユニバーサルデザインの普及やバリアフリーの推進	【継続】
			⑫ 除雪支援の推進	【新規】・【継続】
III 福祉活動への参加が活発な地域づくり	v 地域福祉の理念の普及と共有化	7 福祉事業者の育成と支援	⑬ 岩見沢市社会福祉協議会との連携の強化	【継続】
			⑭ 社会福祉法人の公益的な取り組みへの支援の強化	【拡充】
		8 市民の健康増進	⑮ 健康経営都市の推進	【拡充】
			⑯ 健康ポイント事業の拡充	【拡充】
			⑰ 学校との連携による福祉教育の実践	【継続】
			⑱ 福祉イベントや勉強会の定期的な開催	【継続】
	vi 福祉活動への参加の促進	9 福祉教育の推進	⑲ 成年後見支援センターの普及と市民後見人の養成の推進	【継続】
			⑲ 成年後見支援センターの普及と市民後見人の養成の推進	【継続】
			⑲ 成年後見支援センターの普及と市民後見人の養成の推進	【継続】
			⑲ 成年後見支援センターの普及と市民後見人の養成の推進	【継続】
			⑲ 成年後見支援センターの普及と市民後見人の養成の推進	【継続】
			⑲ 成年後見支援センターの普及と市民後見人の養成の推進	【継続】